

事務事業名	楕形総合公園管理運営事業 ☐ 実施計画事業		所属部局	建設部		単位番号	7070					
			所属課室	都市計画課		課長名	新津 元博					
			所属担当	公園管理担当		担当者名	保坂 佳一					
基本政策	基本計画	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
		13	都市空間の整備		01	一般	0	8	0	4	0	4
政策	体系	21	安らぎ空間の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金							
施策												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 18 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）			法令根拠	都市公園法、都市公園条例							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳（ 22年度 ）							
	1事業の内容 平成18年度から楕形総合公園の維持管理を指定管理者に委託する事業。				項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)							
					委託料 45,000							
	2事業費の内訳 施設の維持管理を(財)南アルプス市体育協会に委託する。 委託する公園の面積13.0ha											
					計 45,000							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	(財)南アルプス市体育協会に管理委託
22年度活動実績	
23年度活動予定	(財)南アルプス市体育協会に管理委託
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
施設利用者 施設規模	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
	安心して利用でき、適正な施設の管理運営がされる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	市民が安全に安心して利用できる。

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア施設管理者との協議回数	回
	イ	
	ウ	
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア施設利用者数	人
	イ施設規模	ha
	ウ	
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア施設運営上の苦情件数	件
	イ	
	ウ	
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
	名称	単位
	ア公園や子供の遊び場に関する住民満足度	%
	イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	46,849	45,000	45,946	50,529	50,529	50,529	
			一般財源	千円							
	事業費計 (A)			千円	46,849	45,000	45,946	50,529	50,529	50,529	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	7	7	15	7	7	7	7	
		人件費計 (B)	千円	31	31	59	28	28	28	28	0
		(A)+(B)			千円	46,880	45,031	46,005	50,557	50,557	50,557
活動指標		ア	回	9.0	8.0						
		イ									
		ウ									
対象指標		ア	人	77,329.0	107,567.0						
		イ	ha	13.0	13.0	13.0	16.0	16.0	16.0		
		ウ									
成果指標		ア	件								
		イ									
		ウ									
上位成果指標		ア	%	34.0							
		イ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成18年度より指定管理者に委託することにより、公平公正なサービスの向上及び効率的かつ効果的な施設の管理運営を目的とした事業である。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	平成18年度より指定管理者に委託され、5年が経過し指定管理者施設として市民に周知されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	施設整備・設備改修の要望がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	経営内容の検討による委託料の縮減。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	経営内容の検討による委託料の縮減。

事務事業名	楡形総合公園管理運営事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 指定管理者に委託することにより、公平公正なサービスの向上及び効率的かつ効果的な施設の管理運営であり整合している。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市の公園であり公共関与は妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 安らぎ空間としての公園の管理運営であり維持・継続は妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 更なる利用者の要望等を把握し、業務に反映すれば成果の向上余地はあるものと思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 指定管理の類似事業はあるが事業を明確化するために統合・連携はできないと思われる。 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 指定管理の委託を休止・廃止した場合は市の直接管理となり担当職員の増員につながる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 指定管理の委託を休止・廃止した場合は市の直接管理となり経費の増額につながる。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 経営努力を考慮し、指定管理者の経営安定を前提とした、委託経費の検討をすることが必要と思われる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 指定管理者制度による外部委託をしているので、人件費削減の余地はないものと思われる。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 指定管理者に委託することにより、公平公正なサービスの向上及び効率的かつ効果的な施設の管理運営を目的としており公正公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	指定管理に移行し営業努力により年々利用者は増加傾向であり市民には喜ばれている。また年々、営業努力により利用料、手数料が増加すると委託料が減少するのでは職員もやりがいなくなるのではないかな今後、施設を維持管理していく為に適正な委託料を算出し指定管理に出すことを検討していかなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
① 各種のスポーツ教室、大会の開催を検討し更なる利用者の増大を図る。 ② ③		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑧																					
		コスト削減優先度評価結果	①																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① 市民の要望を的確に把握し子供から高齢者まで利用ができ、健康に寄与できる教室の開催 ② 市民アンケートの実施及び誰にでも出来る健康教室の模索。 ③																								